

基本事業評価シート (主要な施策の成果報告書)

基本事業コード		13060001	担当課所名	市立病院管理課	評価実施日	平成28年 6月3日
基本事業名		市立病院管理事業				
総合振興計画の位置づけ	基本柱(章)	3	温もりと安心のある「健康のまち」			
	政 策	2	安心できる医療のまちづくり			
	施 策	2	公的医療機関の充実			総合振興計画 91 ページ

基本事業の概要	市立病院の施設設備、経営、人事管理をおこなうことにより、秩父地域の住民に対してより良い医療が提供できる環境をつくる。
---------	--

対 象	秩父地域の住民
意 図 (対象をどのようにしたいか)	(施設設備、経営、人事管理を行うことにより、)より良い医療が提供できる環境を整備したい。

基 本 事 業 指 標	指標の算式	単位	26年度	評価年度(27年度)		29年度	他団体の指標(数値)
			過年度実績値	目標値	実績値	目標値	
医業収益に対する職員給与費の割合	職員給与費/医業収益×100	%	50.	52.5	47.3	54.1以下	黒字同規模病院平均値: 54.1%(H26決算)
医業収益に対する医療材料費の割合	医療材料費/医業収益×100	%	19.8	18.5	19.5	17.5	黒字同規模病院平均値: 17.5%(H26決算)
1床あたりの償却資産(建物)	(償却資産ー減価償却累計額)/許可病床数	千円	10,742.	13,841.	10,342.	12,689以下	黒字同規模病院平均値: 12,689千円(H26決算)
整備不良による年間医療機器事故件数		件	0.	0.	0.	0.	

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆							
枝 番 号	事 務 事 業 名 (★＝実施計画事業)	指 標		27年度	単位	事務事業評価 29年度以降の 事業の方向性 コスト成果	重 点 化
		事 業 費 (円)		目標値(上段)			
		26年度決算額	27年度決算額	28年度予算額			
01	市立病院内部管理事務	指標	医療収益に占める職員給与費の割合	52.5以下	%	B	○
			569,688,230	579,262,093		626,723,000	
02	医療材料購入事務	指標	医療収益に占める医療材料費の割合	18.5	%	B	○
			545,721,812	578,502,365		605,191,000	
03	市立病院施設設備維持管理事業	指標	1床あたりの償却資産(建物)	13,841	千円	B	◎
			303,218,898	324,121,475		384,259,000	
04	医療機器等整備事業	指標	整備不良による年間医療機器事故件数	0	件	B	
			330,918,423	219,063,547		415,491,000	
05		指標					
06		指標					
07		指標					
08		指標					
09		指標					
10		指標					
11		指標					
12		指標					
13		指標					
14		指標					

(参考) 最 終 予 算 額 (円)		1,839,948,000	1,784,204,000		
事 業 費 の 合 計 (円) (A)		1,749,547,363	1,700,949,480	2,031,664,000	
	財 源 内 訳	国庫支出金			
		県支出金	3,994,000	4,777,000	3,150,000
		地方債	155,300,000	17,900,000	230,700,000
		その他特定	462,574,225	468,665,786	449,706,000
		一般財源	1,127,679,138	1,209,606,694	1,348,108,000
正規職員	業 務 量	175.00人	178.52人		
	人 件 費 (B)	1,408,347,325	1,316,958,587		
臨時職員 (事業費に含む)	業 務 量	39.60人	40.90人		
	人 件 費	155,576,233	183,180,864		
事業費合計(人件費込み) (円) (A)+(B)		3,157,894,688	3,017,908,067		

【重点化欄】

◎：評価時点以降の事業の方向性(コスト・成果)の状況から、特に重点化する必要がある事業(1つ以内)

○：重点化する必要がある事業(2つ以内)

成果の方向性	拡充	×	C, B	B, C	C
	維持	×	B	A	×
	縮小	×	C	×	×
	休廃止	D	×	×	×
		皆減 縮小 維持 拡大 コスト投入の方向性			

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。
基本事業指標の分析	基本事業の「意図」を適切に数値化した指標になっているか？目標値の設定は適切か？また、実績値をどう考えるか？ 医業収益に対する職員給与費の割合は黒字同規模病院の平均値よりも良くなっている。看護師等の新規採用職員の増加があるが、医業収益が増加したことにより割合が下がったと考えられる。10月から脳神経外科の常勤医が不在となっており、早急に、常勤医を確保していく必要がある。医業収益に対する医療材料費の割合は、昨年度に比べ、わずかに減少している。1床あたりの償却資産は、同規模病院より低くなっている。施設設備の老朽化が進んでおり、緊急度に応じて、随時、更新や修繕を行っていく必要がある。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業の「意図」を達成するため、事務事業は必要な事業のみか？（過不足がある場合は、改善提案に記載する。） 秩父地域の住民に対してより良い医療を提供できる環境をつくるためには、人事管理、施設管理、医療材料等の用度管理、医療機器等の管理など多岐にわたる事業を円滑に行い、運営の基盤が確立されている必要がある。いずれの事業も必要である。
実施主体の妥当性	事業に対する民間（市民、企業、NPO）との役割分担や市の関与の仕方は適切か？ 市直営の病院であるが秩父保健医療圏（1市4町）の二次救急医療体制を維持するため、民間の2病院とともに、病院群輪番制の役割を担っている。地域の中核病院として業務を実施する。

◆改善提案◆（事中評価の際の改善提案を含む）

Action

新規に実施する事務事業名		事業の概要	
表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、重点化する事業として選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述			
枝番号03 市立病院施設設備維持管理事業を最重点化事業とした理由は、経年劣化により老朽化した非常用発電機の更新工事を実施するため。また、平成28年度中に県の地域医療構想に沿った新公立病院改革プランの策定を進める必要があるため。枝番号02 医療材料購入事務を重点化事業とした理由は、医業収益に対する医療材料費の割合が、黒字同規模病院の平均値よりも高い傾向にあるため診療材料費や医療消耗備品費の節減に取り組む必要があるため。			
改善のため休廃止する事務事業名		休廃止する理由	
改善の方向性(具体的な改善提案)を記述(改善内容、始期、終期等)		昨年度左欄に記入した改善提案(上)とその実施状況(下)	
予算を伴わない 短期的(1～2年)に 取り組む改善提案	医師確保を推進するため、秩父地域で取り組む「総合診療専門医養成プログラムちちぶ」の作成等で、課内の業務量が増加している。職員間の情報共有を密にし、削減できる業務がないか、検討していく。診療材料の価格について検討を進める。		枝番号02医療材料購入事務については、診療材料費(投薬・注射薬以外の診療材料費や医療消耗品費)が高い原因を分析するとともに、同等品を他メーカー一品へ切り替えることによる削減を更に進めている。 診療材料費が高い原因の分析までできていないが、同等品で代替え可能な診療材料については、調査し他メーカーに切り替えを進めている。
	行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況	(6)公営企業等の経営健全化	
予算を伴う 短期的(1～2年)に 取り組む改善提案	毎月実施している院内巡視や平成29年度に受審予定の病院機能評価を活用して、提供する医療の質の向上と業務改善に繋げる。		平成28年度までに新公立病院改革プランを策定するために、秩父保健医療圏において市立病院が果たすべき役割を検討していく。 県の策定する地域医療構想(ビジョン)に併せて、28年度末までには、策定していく予定である。
	行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況	(6)公営企業等の経営健全化	
中長期的(3～5年)に 取り組む改善提案	新公立病院改革プランの内容に沿って事業を改善していく。		新公立病院改革プランの策定と同時に要請されている「公営企業経営戦略」の策定を通して財政計画と投資計画を検討していく。 中長期的な改善事項であるため、検討を進める。
	行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況	(6)公営企業等の経営健全化	
改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー			
市立病院の基盤である施設・設備・人員体制・経営が安定することで、住民が安心して医療を受けられる。			

基本事業執行責任者 (担当課長名)	森下 喜子	電話番号 0494-23-0611
----------------------	-------	----------------------

基本事業評価シート (主要な施策の成果報告書)

基本事業コード		13070001	担当課所名	市立病院医事課	評価実施日	平成28年 6月3日
基本事業名		市立病院医事事業				
総合振興計画 の位置づけ	基本柱(章)	3	温もりと安心のある「健康のまち」			
	政 策	2	安心できる医療のまちづくり			
	施 策	2	公的医療機関の充実			総合振興計画 91 ページ

基本事業の概要	良質な医療を効率的に提供する環境を整え、迅速な患者対応及び適切な医療に対する請求・収納を行う。
---------	---

対 象	患者
意 図 (対象をどのようにしたいか)	健康保持に必要な医療を安心して受けられるようにする。

基 本 事 業 指 標	指標の算式	単位	26年度	評価年度(27年度)		29年度	他団体の指標(数値)
			過年度実績値	目標値	実績値	目標値	
市立病院患者数	入院外来年間延べ 受け入れ患者数	人	108,839.	109,000.	115,995.	118,000.	

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆								
枝 番 号	事 務 事 業 名 (★＝実施計画事業)	指 標			27年度	単位	事務事業評価 29年度以降の 事業の方向性 コスト・成果	重 点 化
		事 業 費 (円)						
		26年度決算額	27年度決算額	28年度予算額	実績値(下段)			
01	医療情報システム維持管理事業	指標	待ち時間満足度		65.	%	B	
		44,950,960	200,584,049	99,050,000	62.6		維持 拡充	
02	医療費請求・収納事業	指標	医療費査定率		0.2	%	B	◎
		65,040,400	66,998,770	71,705,000	0.44		維持 拡充	
03		指標						
04		指標						
05		指標						
06		指標						
07		指標						
08		指標						
09		指標						
10		指標						
11		指標						
12		指標						
13		指標						
14		指標						

(参考) 最 終 予 算 額 (円)			114,178,000	275,325,000	
事 業 費 の 合 計 (円) (A)			109,991,360	267,582,819	170,755,000
	財 源 内 訳	国庫支出金			
		県支出金			
		地 方 債		169,000,000	
		その他特定	16,853,000	1,485,000	16,978,000
		一 般 財 源	93,138,360	97,097,819	153,777,000
正規職員		業 務 量	3.28人	4.48人	
		人 件 費 (B)	19,295,620	27,149,866	
臨時職員 (事業費に含む)		人 件 費	0.00人	0.00人	
		人 件 費			
事業費合計(人件費込み) (円) (A)+(B)			129,286,980	294,732,685	

【重点化欄】

◎：評価時点以降の事業の方向性(コスト・成果)の状況から、特に重点化する必要がある事業(1つ以内)

○：重点化する必要がある事業（2つ以内）

成果の方向性	拡充	×	C, B	B, C	C
	維持	×	B	A	×
	縮小	×	C	×	×
	休廃止	D	×	×	×
		皆減 縮小 維持 拡大 コスト投入の方向性			

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。
基本事業指標の分析	基本事業の「意図」を適切に数値化した指標になっているか？目標値の設定は適切か？また、実績値をどう考えるか？ この事業は地域の方々が健康保持に必要な医療を安心して受けられるようにするため、より多くの患者さまに利用していただけることを目標に掲げた。患者に安心安全な医療を実感していただくことで、受診者数を伸ばし、健全な運営を継続していけるよう、基本事業の意図として適切な指標であると考え。実績値について、地域包括ケア病棟の導入により、急性期病棟だけのときより長く入院できるようになったこと、消化器内科の新設及び紹介患者の増加等により、昨年度の患者数を大幅に上回り、目標値を達成することができた。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業の「意図」を達成するため、事務事業は必要な事業のみか？（過不足がある場合は、改善提案に記載する。） 患者は納得のいく医療行為、迅速な対応、正確な医療費請求を望んでいる。医師が行った複雑多岐にわたる医療行為について、医療情報システムを利用し可能な限り短時間で完結させ、待つことで更なる負担とならないよう努めることは重要である。また、病院事業においては医療費請求・収納業務は必須であり、適切な医療に対する費用の請求・収納を目標に努力していくことは、請求した診療報酬を全て受領できることで安定した運営を継続するため、ひいては患者に対して安全な医療を提供するために重要な業務である。
実施主体の妥当性	事業に対する民間（市民、企業、NPO）との役割分担や市の関与の仕方は適切か？ 地域の中核となる公的病院として安定した運営のために業務を実施していくのは当然必要と考える。

◆改善提案◆（事中評価の際の改善提案を含む）

Action

新規に実施する事務事業名		事業の概要	
表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、重点化する事業として選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述 『医療費請求・収納事業』を重点化する事業として選択した理由は、今回、目標値と大きな差が開いてしまったため、さらに力を入れて取り組む必要があるため。			
改善のため休廃止する事務事業名		休廃止する理由	
改善の方向性(具体的な改善提案)を記述(改善内容、始期、終期等)		昨年度左欄に記入した改善提案(上)とその実施状況(下)	
予算を伴わない 短期的(1～2年)に 取り組む改善提案	診療報酬請求事務の検証と情報の共有化に加え、電子カルテシステムを活用したレセプト点検によって査定率の削減を図ることで、患者へ適切な医療費請求を行う。更に、患者負担分未収金発生防止対策として、未収発生早期の電話連絡を実施し、未収金の早期回収を進める。		診療報酬請求事務の検証と情報の共有化による査定率削減を図ることで、患者へ適切な医療を提供するとともに、未収金対策のため、早期に電話連絡を実施し、未収金の回収を進める。また、窓口で予約受付を行う際は未収情報を確認し、収納を促す。審査結果通知を調査し、査定・返戻原因の分析・修正の結果を情報共有することで次月以降請求に即反映させた。未収金対策については、現年度未収者に対する催告を過年度より多く実施、電話催告及び受付時に収納を促す等早期回収を進めた。
	行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況	(6) 公営企業等の経営健全化	
予算を伴う 短期的(1～2年)に 取り組む改善提案			システムトラブル等により支障を来している業務を次期医療情報システムの導入により改善し、円滑に受付、診療、会計等を行うことができるようにする。そのために、綿密な運用フロー確認等を行い、スムーズな業務運用を行うことができるように進める。電子カルテシステムを導入した結果、システムの切り替え時期は受付、診療、会計等に時間が掛かってしまった。しかし、新システムに慣れてくると昨年よりも患者数が増えているにもかかわらず、待ち時間満足度を高めることができた。
	行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況		
中長期的(3～5年)に 取り組む改善提案			
	行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況		
改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー			
査定率削減及び未収金の減少により、病院の安定した運営に繋がる財源を確保し、安心・安全な医療を患者へ提供する。			

基本事業執行責任者 (担当課長名)	大野 輝尚	電話番号 0494-23-0611
----------------------	-------	----------------------